

令和9年度 一般選抜 A個別方式（第1期）（第2期） 合否判定資料作成基準

入学者選抜合否判定資料作成会議において、学力検査、面接及び書類審査の3判定資料をもとに合否判定原案を作成する。

入学試験管理委員会は、上記の資料をもとに合否判定案を作成する。

学力検査

教 科	科 目	配 点
数 学 理 科	「数学Ⅰ・数学Ⅱ」,「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」のうちから1科目選択	100 点満点
外国語	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ」 ※外部の英語資格・検定スコアを下記の換算基準により外国語の得点として利用することができる。ただし、2025年1月以降に受験したものに限り有効とする。スコアを提出した場合は本学部の外国語の試験を受験する必要は無いが、本学部の外国語の試験を受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用する。	100 点満点

上記2科目の得点の合計を評価点とする。

面 接

実施委員（面接担当者）が各々10段階で採点し、平均点を50点満点（小数点以下第1位を四捨五入）に換算し、評価点とする。

複数の委員が素点「2」以下の採点をした場合は、総合成績にかかわらず不合格とする。

書類審査

別に定める「書類審査項目の配点」に基づき、入学試験管理委員会が算出した値を評価点とする。

序列化の方法

- 1 学力検査（2科目 200点満点）及び面接（50点満点）の各評価点の合計を判定用総合成績（250点満点）とし、合計点が高い順に並べる。
- 2 上記で、同序列の場合、学力検査の評価点が高い順に並べる。
- 3 上記で、更に同序列の場合、書類審査の評価点が高い順に並べる。
- 4 上記で、更に同序列の場合、調査書の「全体の学習成績の状況」の値が高い順に並べる。

<英語資格・検定スコアの換算基準>

換算基準		100 点に換算	90 点に換算	80 点に換算
実用英語技能検定（CSE スコア CSE2.0）		2,304 以上	2,142 以上	1,980 以上
TEAP（R/L+W/S）		309 以上	267 以上	225 以上
GTEC		1,180 以上	1,055 以上	930 以上
IELTSTM		5.5 以上	5.0 以上	4.5 以上
TOEFLiBT®	2026 年 1 月 20 日以前に実施した試験	72 以上	57 以上	42 以上
	2026 年 1 月 21 日以前に実施した試験	4 以上	3.5 以上	3 以上